



ま っ か ぜ
松風

学校通信 臨時号
令和7年10月1日
日立市立大沼小学校
在籍数 492名

➤ 校訓：かしこく・やさしく・たくましく ➤

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
1学期実施の「学校評価アンケート」におきましては、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。
Formsにより224件(60%)の回答をいただきました。なお、回答は100%を目指しております。より正確な
評価にしたいので、12月にもアンケートがありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
学校評価アンケート(7月)の結果をお知らせいたします。

■ 保護者アンケートの結果

質問事項		回答(%)			
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
Ⅰ か し こ く	学校は、わかりやすい授業を行っている。	56.3%	41.5%	2.2%	0.0%
	お子さんは家庭学習で、自分で計画を立て、自分にとって必要な勉強をしている。	23.2%	43.3%	23.7%	9.8%
	学校は、お子さんが進んで読書をするための指導をしている。	21.9%	25.0%	36.6%	16.5%
Ⅱ や さ し く	お子さんは、学校は楽しいと感じている。	67.0%	29.9%	2.7%	0.4%
	学校は、多様な体験を通して、何事にも挑戦する気持ちを育てている。	50.0%	46.0%	4.0%	0.0%
	お子さんは、友だちと助け合って生活していると感じている。	52.7%	43.8%	3.1%	0.4%
	お子さんは、自分から挨拶をしたり、正しい言葉を使ったりできると感じている。	22.3%	56.7%	21.0%	0.0%
	お子さんは、自分も友だちも大切だと感じている。	66.5%	31.7%	1.8%	0.0%
	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。	37.1%	54.0%	6.7%	2.2%
	学校は、不登校児童の早期発見、早期対応に努めている。	37.1%	54.4%	6.3%	2.2%
Ⅲ た く ま し く	お子さんは、交通安全に気を付けて、登下校をしている。	57.1%	41.1%	1.8%	0.0%
	お子さんは、地震や火事が起きたときの避難の方法を知っている。	46.9%	46.4%	6.7%	0.0%
Ⅳ そ の 他	お子さんは、大人になったらなりたいたいものがあると話している。	46.0%	37.0%	15.2%	1.8%
	お子さんは、ピオトープで遊んだことがあると話している。(低・中)	46.0%	35.7%	14.7%	3.6%
	お子さんは、ピオトープを生かして、SDGsについて学習していると話している。(高)				
Ⅴ 地 域 連 携	学校は、学校運営協議会と協働で学校運営を行っている。	54.5%	42.9%	2.2%	0.4%
	学校はブログやマチコミメールなどで積極的に情報発信をしている。	67.9%	30.8%	1.3%	0.0%
	学校は、大沼コミュニティ推進会及び大沼交流センターと協力した教育活動を行っている。	56.3%	41.5%	1.8%	0.4%
	学校は、地域と連携して、PTAと協働で教育活動を行っている。	58.3%	38.8%	2.9%	0.0%
	学校は、地域と連携して、交通安全や地域防災に取り組んでいる。	61.2%	36.6%	2.2%	0.0%

■ 結果の分析

I かしこく（基礎・基本を身に付け、主体的に学ぶ）

〈良いところ〉

- ・ 「家庭学習で、自分で計画を立て、自分にとって必要な勉強をしている」の項目で、肯定的な評価（あてはまる・ややあてはまる）が、昨年度の同時期より保護者の方の評価が12%アップしました。家庭学習の進め方「けてぶれ」に対する取組への理解が深まってきている成果と考えています。今後も、主体的に学び続ける習慣を身に付けていきたいと思います。

〈課題がみられるところ〉

- ・ 「進んで読書をするための指導をしている」の項目で、昨年度より肯定的評価が-34%下がる結果となりました。一方で、児童の約9割が「進んで読書をしている」と肯定的に答えています。子ども達の中には読書の楽しさが広がっている一方で、その姿がご家庭には十分伝わっていなかったのかもしれません。学校での読書活動の様子を積極的に配信していくことで、子ども達の取組を見える形で紹介していきたいと思います。また、読書の秋、親子で読書を楽しむひとときを持っていただければ幸いです。

II やさしく（自他の良さに気づき、互いに認め伸ばし合う）

〈課題がみられるところ〉

- ・ 今年度、初めて設定した項目「自分から挨拶をしたり、正しい言葉を使ったりできると感じている」が低く出ました。その一方で、子ども達の9割ができていますと感じています。学校生活の中では、「当たり前のことを当たり前にできる」児童を目指し、自分から挨拶することや目上の人に対する言葉遣いを指導しています。今後ともご家庭や地域と連携して、子ども達がどこでも自然に挨拶や丁寧な言葉を使えるようにしていきたいと思います。

III たくましく（たくましい心と体をつくる）

〈良いところ〉

- ・ 「交通安全に気をつけて登下校している」の項目に高い評価をいただきました。日頃から保護者の皆様が見守ってくださっているおかげです。子ども達が安全に登下校できる環境を、家庭・地域と学校が一緒に築いてきた成果だと感じています。今年度は全学年一斉下校にしました。学校でも繰り返し指導していきます。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いします。

IV その他の教育

〈課題がみられるところ〉

- ・ アンケートでは、「大人になったらなりたいものがある」という項目で、児童の約9割が「ある」と答えました。一方で、保護者の皆様の回答では「あまりあてはまらない・あてはまらない」と感じられている方もいらっしゃいます。学校では今後も、夢や将来について考えるキャリア教育を進め、子ども達が自分の言葉で語れるようにしていきます。ご家庭でもぜひ、「どんな夢があるの?」と問いかけていただき、子どもの思いを聴いていただければと思います。

V 地域との連携

〈良いところ〉

- ・ 地域との連携に関する項目は高く評価されました。地域と保護者、学校が力を合わせて子どもを育む姿は本校の大きな強みです。子ども達は、地域の方とふれあう中で安心感を得るとともに、多くのことを学んでいます。今後も、地域と保護者、学校が連携しながら子ども達の健やかな成長を支えてまいります。

■ 自由記述欄のご意見ご質問等について、全体に関わる内容を紹介します。

1 学習面

- 算数力テスト、国語力テストがなくなったので計算、漢字の覚えが悪くなったと思います。
- 自学で「けてぶれ学習」をしているが算数と国語以外の科目で何をしたらいいか思いつかず苦勞していた。けてぶれ学習でどのようなことをしたらよいか、科目ごとの具体例などを掲示物等で示してもらえるとイメージしやすくて助かります。
- 本校では、算数力テスト・国語力テストは、学習単元が終わる度にミニテスト形式で実施しています。各教科の授業の単元毎に、小テストや振り返りを通して学びの定着を確認し、必要に応じて個別に支援を行っています。
- また、子ども達が自分で学習計画を立て、自分にとって必要な課題に取り組む主体的な学び「けてぶれ学習」を大切にしています。今後は、児童の好事例を掲示するなど、具体例等を共有しながら進めてまいります。これからも基礎学力の確かな定着と、自らの学びを調整できる力の育成の両立を目指してまいります。

2 生活面

- いじめの早期発見や、日々の指導をよろしくお願いします。
- いじめについては、「早期発見・早期対応」を基本とし、日々の児童理解を丁寧に行うとともに、子どもの小さなサインを見逃さないように努めています。今後も定期的なアンケートや面談、またスクールカウンセラーや相談員との連携を図りながら、未然防止と迅速な対応に取り組んでまいります。
- 上級生の下級生への態度をあらためるように、指導を引き続きお願いします。
- 本校では、日常の学校生活の中で、異学年交流や委員会活動を通じて、上級生が下級生を思いやり、良い手本となるよう指導しています。しかし、時に望ましくない言動が見られることもありますので、引き続き教職員が目配り、具体的な場面で指導を重ねてまいります。

3 行事面

- 運動会では、リレーが復活したり、徒競走の順位をつけたりと、昨年度よりも今年度の運動会が盛り上がったと感じました。

4 その他

- 紫外線が強い時期だけでも、熱中症対策に幼稚園の時の様な首の後ろに日除け布がある赤白帽子を希望者だけでも休み時間などに使わせてもらえたらいいと思います。
- 熱中症対策の一環として、日差しの強い時期には日除けを取り付けていただいても良いことにします。安全面に配慮して体育や集団活動の際には外す場合もありますので、その都度担任の指示にご協力ください。子ども達が安心して活動できるよう、今後も環境づくりを進めてまいります。
- 不審者対策として気になるのは、閉門中でも徒歩であれば地下通路を使用して校庭内に入れるのではないかと、という点と、ウィキペディアの大沼小紹介に、校舎の使用学年など詳細が書いてあり、標的になりやすいのでは、と心配です。他校の記事には書いてありません。削除が適切かと思いますが、いかがでしょうか。
- 地下通路からの出入りについては、不審者侵入の可能性があることを学校としても課題と認識しています。保護者の来校時の利便性も考慮しながら、見守り体制の強化とともに、防犯カメラや門の設置等、教育委員会と協議しながら検討し、安全確保に努めてまいります。ウィキペディアへの記入は学校ではしておりません。ご指摘の件は同じ考えですので、校舎使用学年の記載については削除いたしました。情報提供ありがとうございます。
- マチコミの下校時刻が変わる場合5時間授業の学年だけでなく6時間授業の迎えの親にも配信してほしい。雨の日だと迎えラッシュで前の時間のお迎えの人達との駐車場トラブルになるので全学年に送ってほしい。
- 荒天時の下校時刻変更について、今後は該当学年だけでなく、全保護者の皆様へ一斉にメール配信を行うことといたします。安全確保のため、迅速で確実な情報共有に努めてまいります。
- このアンケートにわからない項目がほしい。
- 学校評価アンケートにつきましては、項目によっては判断が難しい場合がありますので、より正確に保護者の皆様のお考えを把握できるように、来年度のアンケートから新たに「分からない」を選択肢に追加いたします。今年度からの予定でしたが申し訳ありません。本年度につきましては、2学期も同じ項目でご協力をお願いいたします。

■ 学校運営協議会でのご意見

9月26日に開催された第3回学校運営協議会において、本アンケートの結果について学校運営協議委員の皆様より、以下のようなご意見をいただきました。

1 学習面

- 児童が自分で計画を立て、自ら学びを進める「けてぶれ学習」は、単に知識を定着させるだけでなく、将来にわたって自ら課題を見つけ、解決していく力を育てていくことになるので継続していく。
- 読書に関する項目では、保護者と児童の回答に差が見られた。児童は本を読んでいるという素直な気持ちが表れている。保護者の質問項目は「学校は、進んで読書をするための指導をしている」ではなく「お子さんは進んで読書をしている」とするとズレがなくなる。

2 生活面

- 児童アンケートの項目「給食では何でも食べようとしている」で、「あてはまらない・あまりあてはまらない」と14%の児童が回答している。給食も教育の一環としてとらえると、今後も食育に関しての継続的な指導が必要である。
- 各種災害時の避難方法について理解していることは、「命」を守るために大切である。学校では、地震、火災、原子力災害、不審者対応等、年間を通して避難訓練を実施し、子どもたちの安全意識を高めている。家庭でも、地域の避難訓練に参加し、いざという時に安心して行動できるように備えてほしい。
- スマートフォンやタブレットの利用が学習や生活に役立つ一方で、依存やネット上でのトラブルなどの課題も増えている。仕事や勉強、家事以外でのスマートフォンなどの使用は、1日2時間以内を目安にするよう促す条例案が愛知県で採決されるなど、社会問題である。学年に応じて「時間を守る」「言葉を大切にすること」「発信の責任を考える」等、情報モラル教育を行っていく。家庭でも「使う時間」「アプリの内容」などについて親子で話し合い、ルールを決めることが大切である。

3 行事面

- 運動会では、リレーが復活したり、徒競走での順位付けが実施されたり、学校運営協議会での意見が反映されている。今後、保護者が参加できる種目等についても検討してもらいたい。

4 その他

- 7月は、約60%の保護者の方からのアンケート回答があったが、さらに回答率（100%目標）をあげていきたい。スマートフォンからの回答なので、リマインドや声かけを工夫していくとともに、意見が学校運営にどのように生かされたかを積極的に発信していくとよい。
- 地下通路の出入口は、不審者対策からも心配である。学校としては、「校内につき関係者以外立ち入り禁止」の看板を立てる等の対策をしていくとともに、教育委員会とも連携していく。

いただいたご意見を今後の学校運営に活かし、安心して子どもたちを通わせることのできる学校づくりに努力してまいります。ありがとうございました。